

MARINA KAWAMOTO



MAMI SHOKA



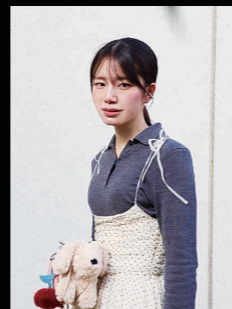
NAGERU SAJI



KOSUKE TANAI



KANON HAKUTO



NAOTAKA HIRATSUKA



KAZUKI YAMAMOTO



KEI YAMAMOTO



NOBORU YAMAMOTO



THE STORY OF YOKISO
PRESENTED BY OYSTERS
AT CHIKUSA PLAYHOUSE

揚輝荘の話
WRITTEN AND DIRECTED BY
NAOTAKA HIRATSUKA

作・演出

平塚直隆 (オイスターズ)

川本麻里那 (劇団あおきりみかん)

荘加真美 (劇団ジャブジャブサーキット)

佐治なげる (オイスターズ)

田内康介 (オイスターズ)

白藤花音 (劇団ちゃこーる)

平塚直隆 (オイスターズ)

山本一樹 (演劇組織KIMYO)

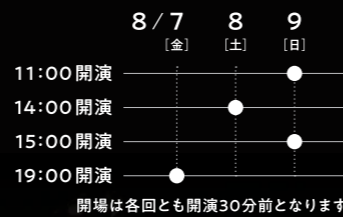
山本慶

山本のぼる

2026.8.7 金 → 9 日

千種文化小劇場 [ちくさ座]

[チケット料金] 全席自由 / チケット発売日 5月8日[金]
一般 → 3,500円
友の会会員・障がい者等 → 3,000円
22歳以下 → 2,000円



[チケット取り扱い]

- 千種文化小劇場 TEL: 052-745-6235
 - 名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL: 052-249-9387 (平日9:00~17:00 / チケット郵送可)
 - 名古屋市文化振興事業団管理施設窓口
 - 電子チケットteket <https://teket.jp/1087/69495>
- 当日券販売は各回開演時間の15分前からとなります。
● 未就学児の入場はご遠慮ください。
● 割引料金の場合は、身分証明書、事業団友の会会員証、障がい者手帳等を当日ご提示いただけます。
● 障がい者手帳をお持ちの方は、ご本人と付き添い1人まで割引料金でお求めいただけます。
● 駐車場台数に限りがありますので、公共交通機関でお越しください。

[お問合せ]

名古屋市千種文化小劇場 [ちくさ座]
TEL: 052-745-6235 (9:00~20:00 ※土日祝は17:00まで) 休館: 月曜、祝休日の場合は翌平日
メール: chikusaza@bunka758.or.jp

オイスターズ — 2005年「ジ・オイスターズ」として活動を始め、2008年に改名して劇団化。その舞台は「過剰なまでに会話劇」をテーマに掲げ、あらゆる舞台演出を極力会話のみで表現する試みに注力している。簡素な舞台美術や、身体的な情報を極力排除した演技スタイルにより、全ての表現を会話に特化させ日本語の豊かさや曖昧さを明確にし、人の思い込みによるすれ違いから生じる「笑い」を生み出している。オイスターズの由来は、シェイクスピアの台詞【The World is Mine OYSTER=世界は俺の思い通りになる】から採借したと公言しているが、実際は「よく当たる」という意味である。座付き作・演出 / 平塚直隆の主な受賞歴に、「はだか道」第4回仙台劇のまち戯曲賞大賞受賞、「トラックマロウ」第16回劇作家協会新人戯曲賞、「豆」第12回AAF戯曲賞、「日本語私辞典」若手演出家コンクール2011最優秀賞などがある。「ここはカナダじゃない」が第61回岸田国士戯曲賞最終候補に選出。

作・演出 = 平塚直隆 音楽 = 長谷川将志 舞台監督 = 柴田頼克 (電光石火一発座 / すがい創造庫)
照明 = 今津知也 (オレンヂスタ) 音響 = 堀場眼助 (マナコ・プロジェクト) 宣伝美術 = 大久保勝信 製作 = オイスターズ
協力 = (公財)名古屋まちづくり公社揚輝荘管理事務所 / 名古屋プロダクション / 田中博之
主催 = (公財)名古屋市文化振興事業団 [名古屋市千種文化小劇場]

あなたの知りたい
情報をお届け!

名古屋市文化振興事業団の
LINE公式アカウントを友だちに追加するだけで
最新情報がリアルタイムで届きます!



オイスターズ

名古屋市文化振興事業団 [千種文化小劇場 [ちくさ座]]

〒464-0858 名古屋市千種区千種三丁目6番10号
■ 地下鉄桜通線「吹上」下車7番出口より北へ徒歩3分
■ 市バス「大久手」下車すぐ (系統: 吹上11、栄16、名駅17、八事12)

オイスターズ

オイスターズが
千種文化小劇場
で迎える揚輝荘
の話

THE STORY OF YOKISO
PRESENTED BY OYSTERS
AT CHIKUSA PLAYHOUSE

2026.8.7 金 → 9 日

THE STORY OF YOKISO

THE STORY OF YOKISO

THE STORY OF YOKISO

THE STORY OF YOKISO

THE STORY OF YOKISO

THE STORY OF YOKISO



オイスターズが 千種文化小劇場 でつくる 『揚輝荘の話』

2026.8.7(金) → 9日

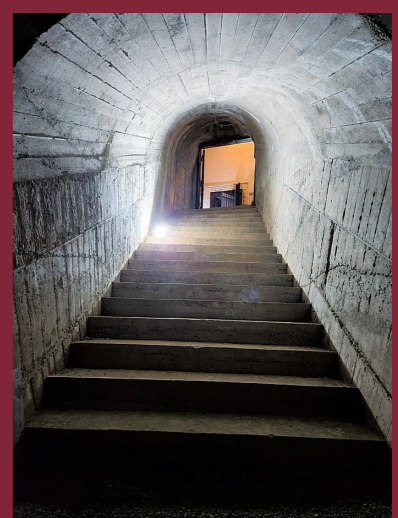
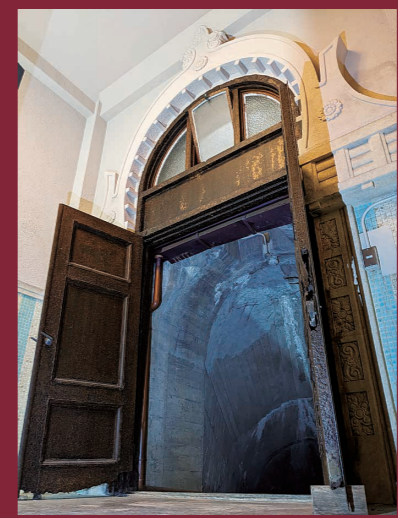
オイスターズが 千種文化小劇場 でつくる 『揚輝荘の話』

2026.8.7(金) → 9日

オイスターズが 千種文化小劇場 でつくる 『揚輝荘の話』



INTRODUCTION
和と洋が入りまじり独特の空間をもつ
千種区・覚王山の市指定有形文化財、揚輝荘。
2023年、オイスターズは揚輝荘の建物そのものを舞台に
地下と地上で別々の物語が同時に進む
『オイスターズが揚輝荘でつくる演劇公演』を上演。
揚輝荘のためにつくられた演劇を、今度は千種文化小劇場で再構築。
新たな『揚輝荘の話』、開幕！



揚輝荘 YOKISO

揚輝荘は、昭和初期に建設された名古屋の郊外別荘の代表作です。別荘の主人は、松坂屋の初代社長である伊藤次郎左衛門祐民氏です。大正から昭和初期にかけ千種区覚王山の丘陵地1万坪に、建物と庭園がつけられました。当時は、政財界、文化人だけでなく、留学生も含めた国際的な交流の場となっていました。名古屋市を代表する歴史的建造物として、5つの建造物が市指定有形文化財に指定されています。